

## 北京だより(42)

### 中国で売り出すなら焼酎より日本酒

長江商学院 国際広報部

日本語圏マーケティング マネージャー 大上 智子

es'say

es'say

世界的に日本食がブームとなつて  
いると聞きます。北京でも以前に比  
べると日本食の質は上がり、円安の  
おかげか、価格は手ごろになつてき  
て、在住日本人としてはありがたい  
限りです。今回は、北京における日  
本酒と焼酎事情を簡単にお伝えしま  
す。

かつて中国では、白酒(アルコール  
度数五〇度の蒸留酒)をストレート  
で一気飲みし、文字どおり乾杯(杯  
を干す)するのが接待のルールでし  
た。世界的に若者がアルコール離れ  
していると聞きますが、中国でも若  
者は白酒の一気飲みを敬遠する傾向  
にあります。その一方で、ワインを  
ゆつくり飲むスタイルが流行してお  
り、日本酒も同じような感覚で飲ま  
れています。

北京では中国産の「松竹梅」が売  
られており、価格も安いので日本酒  
ファンのすそ野を広げています。し  
かし、残念ながらその味は日本

の地酒にはかきません。中国人消  
費者も、徐々に日本酒の味の違いが  
わかるようになってきて、「松竹梅」  
では満足できない顧客層が出てきて  
いるようです。そのような人々には  
フルーティーな吟醸酒が人気で、高  
級店では「獺祭」「久保田」など日本  
でも人気の銘柄がよく出るようです。  
二〇一四年における中国の日本  
酒輸入量は一〇六四キロリットルで  
世界五位、前年比一二〇%と、まだ  
伸び代もあるようです。また、白酒  
を飲む文化があるのなら、焼酎のほ  
うが受け入れられやすいとお考えの  
方もいらっしゃるでしょう。しか  
し、実際はそうでもない。焼酎の味  
わいは日本酒に比べれば白酒に近い  
のですが、味は白酒より淡泊で価格  
は高い。それならば焼酎よりも白酒  
を飲んだほうがいい、という感覚が  
あるようで、焼酎を飲んでいるのは、  
日本人か、日本生活が長い中国人だ  
けのようです。